# 第3回普賢寺小学校コミュニティ・スクール推進委員会 会議録

- 1 開会
- 2 公開に係る説明

【事務局から説明】

3 前回会議での意見に係る説明

## 【事務局から説明】

- ・留守家庭児童会について
- ・教職員の配置について

# 【主な意見等】

委員 現保護者の意見についても聴取してほしい。 委員長 幼稚園保護者の意見も聴取してほしい。

#### 4 議題

(1)豊かな自然や小規模のよさを生かした特色ある教育内容のあり方について〜幼小連携を視野に入れた取組〜

## 【事務局から説明】

- ・現在の農業体験学習の見直し
- ・小規模校の特色を生かして何ができるか
- (2) 先進地視察報告

## 【事務局から説明】

- · 高知県南国市教育委員会
- · 南国市立奈路小学校
- 南国市立白木谷小学校

## 【主な意見等】

- 委員長 地元の保護者と特認の保護者の間の壁を低くするためにも、保護者間の交流を増やすことが大切である。 「特認校制度」とあわせ、地元に目を向ける必要がある。
- 委 員 普賢寺幼稚園以外に通わせている保護者は、そこに通わせている保護者同士の関係ができる。他の地域の幼稚園や保育所に行かなくてもよいように環境を整えることが必要である。今後、 学校運営協議会で議題として扱ってほしい。
- 委員長 地元の子どもは地元で育てるという視点から、特別支援学級の 設置も必要と考える。
- 委 員 学校の存続と地域の存続とは大きく関係する。子どもが増えていかないと、地域の存続はない。
- 委員 普賢寺地域は交通の便はよいので、「農村が好き」という人が 住むことができる仕組みも行政は考えてほしい。
- 委 員 「田んぼの学校」「畑の学校」など、農業体験学習が普賢寺小 学校の土台となっている。これからも充実させていかなければ ならない。
- 委員長 今取り組んでいることをさらに充実させていってほしい。 必要なことは行政にも要望を出していきたい。
- 委 員 収穫した野菜を給食に使うこともよい。
- **委** 員 若い人に手伝ってもらって教育活動を進めることもできる。
- 委 員 普賢寺ならではのどんな教育ができるのかを考えてみることが 大切である。
- 委員 しめ縄作りの次を担う社会人講師がいないので、今後の人材確保が必要となる。
- 委 員 各地域には、さまざまな行事がある。しかし、地元の子どもた ちもあまり参加しないように思われる。
- 委員長 他のコミュニティ・スクールでは、地域の行事を入れたカレン ダーを作成し、各地域の行事に参加しやすい取組を進めている。

委員長 小規模を生かして学力アップを図る取り組みができる。

委員 (普賢寺小学校では)パソコンは全児童分の台数がある。

委員 大学では iPad を使用するが、電子黒板を使っている小学校もある。

体験型で協同学習という自ら学ぶ学習スタイルは、少人数の場合、取り組みやすい。

全員体験、全員発表の機会を設けることにより、世界で通用するプレゼンテーション能力(発表やスピーチではない。)を身につけることができる。

また、農業体験学習は、キャリア教育にもつながる。

委員長 スクールバスは、子どもの確保や安全の視点からの検討を行い、 有効活用ができるとよい。

委員長 地域の人や保護者に、コミュニティ・スクールについて色々知ってもらうことが必要である。コミュニティ・スクールに関心をもってもらうために、アンケートをとってはどうだろうか。

委員 コミュニティ・スクールについての情報を地域や保護者に伝える必要はある。関心をもってもらうためには、各推進委員が工夫し、さまざまな会合等を活用して多くの人に理解してもらうための努力をすることも大切である。

#### (3) その他

【事務局から次回の開催日程を連絡】